

Buongiorno! 国際文化学科 3 年の恒枝碧です。10 月の中旬に最高気温が 11 度になる日が 3 日ほど続き、だんだんと肌寒くなってきました。到着してから 10 月の半ばまでの 1 か月半のうち雨が降ったのは 1、2 回でしたが、10 月半ばを過ぎてから曇りや雨の日が多くなってきました。全てが初めての体験だった 9 月に比べると 10 月は日々の生活に慣れ、友人たちとの交流や自分の行動範囲の広がりを通して生活の質が向上したように思います。(新しい体験が尽きることはないですが)

【大学付属語学学校】

10 月から大学のイタリア語クラスが始まりました。自分の都合に合うクラスを選択でき、月曜日と水曜日に開講されるクラスを選びました。クラスには 20 人ほどの生徒がいますが、たまたま私のクラスの半分、もしかすると半分以上がスペイン人という事態が起きました。スペイン人が多くいることに問題はないのですが、スペイン語とイタリア語は単語や文法の面で類似する点が多く、彼らの理解スピードがものすごく早いのです。先生は私のようなイタリア語とは遠い言語をもつ生徒に向けて、「スペイン人が多いから授業が早く進むけど、わからなかったら止めてね」と言ってくれます。授業についていくために学ばなくてはと毎度思います。

【日本語の授業】

私がイタリア語を学ぶ上で、イタリア語クラスに通うことよりも役立っていることがあります。10 月の半ばごろから大学の日本語の授業を受講し始めました。偶然日本語を勉強しているイタリア人と友達になり、彼らが受けている日本語のクラスに行ってみたら私にとってはイタリア語の勉強になることがわかり、とても面白く、よい学びになっています。授業中に日本語の文章をイタリア語に直したり先生のイタリア語訳を聞いて書き写したりしているため、間違っている箇所が多くあります。そのため授業後に友人にどこが間違っているかを聞いて直してもらっています。多く間違っていますが友人はとても優しく最後まで私の勉強に付き合ってくれます。ボローニャに来てからはイタリア語をイタリア語で学ぶ場合と、理解できなかったときは英語で教えてもらう場合との 2 パターンで学んでいましたが、英語を介さずにイタリア語を学べる状況ができて一度に理解できる量が増えたように思います。何より、日本語のニュアンスや語彙を少しわかってもらえることが本当にありがたいです。

【近郊都市 Modena】

10 月中旬に Modena(モデナ)というボローニャの近郊の街に行ってきました。何か目的があったわけではありませんが、電車で 30 分ほどのところなのでフラッと訪れてみました。ボローニャが若者の多いにぎやかな街だとすれば、モデナは落ち着いた穏やかな時間が流れる街でした。モデナは車産業で有名なだけあって、路肩に止まっている車や走っている車の中に何台もとてもカッコいいクラシックカーがありました。イタリアは街の規模に関わらずそれぞれの街で空気感と風景が異なっており、歩くだけで気分転換になりま



↑モデナの聖堂です。

す。11 月もボローニャの外へ行こうと考えています。

【フツ軽イタリア人】

生活には慣れても予想していないことが突然起こることが多々あります。イタリア人は日本人よりもはるかに「フツ軽」です。このレポートで「フツ軽」という言葉を選ぶことが適切だとは思いますが、イタリアでは急に予定に誘われたり、誘ったりすることが多く、これがノーマルなのかもしれません。土曜日の 18 時ごろに「今日の夜劇場に行こう」と誘われ 21 時ごろから演劇を観賞したり、日曜日の夜に「ジェラート食べに行かない？」と誘われ 21 時ごろに中心部の噴水(定番の集合場所)に集合したりと、予定のなかった日に急に予定が飛び込んできます。私はこの「突然さ」がとても好きです。行ってみたら必ず自分が体験したことのないことが起こりますし、新しいことを知ることができます。毎回大発見があるという意味ではなく、行ったことのない gelateria(ジェラート屋)や pizzeria(ピザ屋)を知れたり、触れたことのないジャンルのショーを見たりと自分の経験と生活力に何かしらの幸せをもたらしてくれます。最近は新しい gelateria と pizzeria を開拓することにはまっています。

【時にはハプニングも】

ちょっとしたハプニングも起こりました。夜に家に帰ると家の電気が全てつかなくなっていました。不動産に操作方法を教えてもらっていたところ、たまたま私のすぐ後に帰ってきたハウスメイトが家のブレーカーとマンションの大元の電源を操作し、直してくれました。家にあった電子レンジが壊れており、それを誰かが使ったことで全てのブレーカーが落ちたようです。その後も 2 回全電源が落ちましたが、もう自分で直せるようになりました。また、私の家のコンロはライターで火をつけるのですが、突然私の買ったキッチン用ライターがつかなくなり 1 日自分で火をつけられなくなりました。というのも、キッチンにはそのライターのほかに火花だけが散るライターがあります。その火花だけで火をつけられる生活能力の高いハウスメイトと自分のマイライターをもっているハウスメイトがおり、その 1 日は火を使うときは誰かを呼んで火をつけてもらっていました。予期せぬことは絶えませんが、それも楽しみながら生活しています。

ハロウィンが終わり、スーパーにはさまざまな種類のパネトーネやパンドーロ(クリスマスに食べるイタリアのケーキ)が並び始めました。寒くなってくるので体調管理にも気を付けながら、毎日を大切に過ごしていきます。



↑ 初めて劇場に行ってきました。
2500 円ほどで観劇できました。
迫力がありとても良い時間を過ごしました。



↑ 雨上がりの夕方の景色が
本当に美しかったです。